

街の おすすめ ショップ



お くに 小國ことまち横丁

このたび、森町の小國神社の門前に、「小國ことまち横丁」が一部オープンしました。

「小國ことまち横丁」は、今まであった土産物店と休憩所を一新して、昔の門前町の横丁の面影を残した3つの建物と東屋などが計画されました。お茶をはじめとした森町の特産の販売や、食事などが楽しめるようになっています。

今は、仮オープンですが、小國神社の木々が真紅に染まる晩秋（10月25日）には全施設がオープンすることになっていきます。この地域の観光の拠点として、今後益々大いに賑わうことと思います。

小國神社は遠州の一言として信仰されているほか、梅・桜・シヤクナゲ・菖蒲・紅葉等々四季折々の花を観ることができ、訪れる人々を魅了してやみません。今後は「小國ことまち横

丁」も楽しめると思いますので、ごうが皆様も一度訪れて、古代の森と、花と、森町の特産をご賞味ください。



うちの マドンナ



八木久恵さん 和井内とも子さん 八木祐子さん

今回ご紹介するのは、袋井市役所勤務で技術職のマドンナさん3名です。年令や所属の部署は違いますが、目的は同じ「素敵な街づくり」と市民サービスの向上と、皆さんの声をきいて答えてくれました。

仕事の内容は建設事業の設計や積算、発注そして管理等です。男性社会の中にあつて女性らしいさわやかな新風を巻き起こしてくれていますよ。と、部長さん方からお聞きしました。街で見かけたら、是非声をかけてあげてください。

和井内とも子さん（掛川市在住）

地図に残る仕事が楽しくてこの仕事を選んだそうです。自分が仕事を頑張れるのは家族や多くの人の助けがあるからと感謝の気持ちを忘れないう。でも、家では「怒るとおばけや鬼よりもっとこわい。」とご主人や子供達から恐れられているそうです。

将来の夢は、リフレクソロジーのライセンスをいかし、ボランティアをやりたいとか。「私はマドンナじゃなくて、マママドンナって紹介してく

ださい。」と気さくに言った笑顔がとても印象的でした。

八木祐子さん（袋井市在住）

普段は、くよくよ気にならない性格。でも仕事では、ご迷惑がかららないよう心配りは欠かせません。インドア派でお休みの日は家にいるかホームセンターで日用品などを眺めるのがお好きなようです。結婚して1年、お弁当づくりが今一番の幸せとか。将来の夢は子供、孫に囲まれて暮らしたいそうです。

「私ってあんまり印象ないでしょう」と素朴な笑顔で聞かれましたが、結構芯が強く、しっかり&ちゃっぴり者のようです。

八木久恵さん（豊田市在住）

まだ2年目で初々しいルーキーの八木さん。趣味は旅行とか観葉植物の栽培など、自然や生き物を大切に思う優しい心の持ち主です。休日は自然とのふれあいを大切にしながら友人とアウトドアを楽しむのがストレスの解消にもつながっています。「23歳で独身ってのは、内緒にしてくださいね。」と言われましたがなかなか？

「仕事は慎重派なのでまだ不安だらけです。」と言っていました。が周りから「もう一人前だよ。」と声をかけられ照れてる仕草のかわいい新米さんでした。

